

(様式)

令和8年度 三つの方針（スクール・ポリシー）

学校名	富山県立富山高等学校
-----	------------

1 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

“ 自学・自楽（じがく）する18歳へ ”

グローバルな視点を持って、未来社会と自分の将来像との重なりを認識し、「発展的未来」の創造に役割を果たすため、次の資質・能力の育成を目指す。

- ① 自律性 … 3年間の学びを通して深めた教養と自己理解、主体性によって、次のステージでも能力を継続的に伸長させ、躍動できる。
- ② 対話力 … 自らの疑問・違和感や社会から託された課題の解決法を、事実に基づく合理的思索と、周囲との協働、対話によって探究できる。
- ③ 創造力 … 「慎重」と「敢為」の止揚を体現し、社会風潮に左右されない価値基準を備え、試行錯誤の蓄積の上に、自身や社会の最適解を見定められる。

2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

“ 慎重自ら持し 敢為事に当る ”

校訓「慎重敢為」を踏まえ、次のとおり実践する。

- ① 慎重 … 課題に対する深い思慮を支える知識技能と、対話力の習得を目指し、教科横断的な思考力を養う授業とする。
- ② 敢為 … 正解の定まらない事項について躊躇せずに挑み、探究し、創造する姿勢を高められる環境とする。

社会に対する関心を深め、批判的思考力を高めながら「現在」「未来」「発展的未来」それぞれについて考察を深めていく。富高生は富山高校だけでなく、地域社会、国の主体的存在であることを自覚し、校内、校外での様々な活動を、その学習内容の実践、反省の機会とすることができるようになる。

こうした富山高校の学びは、「富山県教育のパイオニア」として「発展的未来」の体現を目指す富山高校生と教職員の協働によって実現をめざす。

3 入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

“ 学びたきもの つどう ”

創校の志「学びたきもの つどう」の伝統を継承し発展させる志のある、次のような生徒の入学を、心から歓迎する。

- ① 「学習」の段階から、「学問」の世界へ羽ばたきたいと考える者
- ② 日常の疑問や違和感を大切にし、知りたい、理解したいという思いに繋げようとする者
- ③ 学友や教職員の助言・支援に真摯に向き合う、しなやかな感性を高めようとする者